

国会闘争速報

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

教職員の怒り、与党揺さぶる

採決情勢を押し返せ！ 職場で団結固め、国会へ！

参院での攻防が山場にさしかかる中、国会前は午前中から1000人を超える人が駆けつけ、緊迫感に包まれた。

この日は関西からも教育労働者がハリストに駆けつけた。「森越委員長は国会前座り込みを『すみません、もうやりませ

ん』などと言っているが、今日も多くの現場労働者がここで座り込んでいる。超多忙な中での切実な私たちの思いを今こそすべてぶつけよう」(大阪Kさん)。

これが教育労働者の止むにやまれぬ思いだ。森越日教組委員長に対する激しい怒りが国会前全体に満ちあふれていた。

朝から座り込みを行っていた「教基法改悪を止めよう全国連

長野、甲府、静岡でも教組や市民が「公聴会」に抗議

4日の長野県での公聴会。会場のホテル前には県教組や百万人署名運動など約40人が集まり抗議の申し入れが行われた。

6日にも急に地方公聴会が2カ所で開催された。山梨県甲府

「やらせだ」と暴言！
自民議員、座り込みを
5日の参院特別委員会で、自民党の小泉昭男議員が国会前の座り込みを「あれもやらせではないか」と誹謗中傷する暴言を

吐いた。さらに傍聴者によれば「教師は人員が足りないとか言いながら、職務専念義務を外して(国会前に)出てきているだろ」とののしったとのこと。こんな暴言がまかりとおるのも、日教組の森越委員長が右翼(「つくる会」など)に対して座

り込みを謝罪するという裏切り行為を行っているからだ。政府与党は教育労働者の不屈の闘いに恐怖しているのだ。それを否定してどうするのか！ この屈辱をのりこえ、今こそ10割年休で国会を大包围する闘いに立ち上がろう。

絡会」よびかけ人の大内裕和さんは「ハリストなど多くの人のたの何とかしたいという思いが大きな運動を作り、採決をここまで遅らせてきた。今週の採決を運動の力で止めることが来週につながる」と熱烈に訴えた。

国会前での闘いが確実に安倍政権を追い詰めている。今週中に採決強行という与党のもくろみも闘いの力で押し返している。正念場の闘いに全国から駆けつけよう。

市では高教組や全労連、百万人署名運動など約60人が抗議行動を展開、静岡市でも宣伝カーを駆使しての抗議行動が行われた。

行動予定

- 国会前座り込み
- ハリスト者、連日の9～18時
- 東京教組、連日の16～18時
- 都高教、連日の14～16時
- 北教組、7～8日
- 千葉高教組、7日13～17時、
- 全国連絡会、7～8日の9～17時
- その他、都教組や神高教等も。
- 8日(金)夕、日教組の緊急中央集会・デモ(日比谷野音)
- 12日(火)18～19時、国会前集会(主催：全国連絡会)
- 13日(水)17～18時半、ヒューマンチェーン



●ハリスト者Sさん
公聴会では、法案に反対する声や慎重審議を求める発言ばかり。こんな法案は撤回するのがスジ。すでに日本はイラク戦争に加担し、教え子を戦場に送ってしまっている。教基法改悪は「戦後体制を脱却する」というクーデターとの闘いだ。この運動の中心に座るべきものが山場に来て撤退しているのは何

森越委員長長の「朝まで生テレビ」(11月24日放送)での発言は、絶対に許すことができない。「つくる会」前会長の八木らの国会前座り込みへの誹誘中傷に対して「すみません」と謝り、「先週でやめました」〓〓二度とやりません」と誓約している。

日教組委員長が右翼の誹誘中傷にぶざまに屈したこのやりとりは、全国で放送され、組合員の怒りと失望をまきおこしている。必死の思いで国会前にかけて闘って来た組合員の思いを踏みにじり、教基法改悪反対の大義を投げ捨て、反対運動を限りなく貶める発言であり到底許すことはできない。

いじめ自殺は、教基法を無視した競争と選別の教育政策の生み出したものではないか。ところが森越は、教育労働者に責任をなすりつけるデマゴギック

ということか。「教え子を戦場に送るな」というスローガンは何だったのか。

●ハリスト者・定時制高校教員Tさん
15歳の生徒が「19歳と書け」と言われアスベストの処理現場で働かされている。頭に塊がぶつかって失神し、目が覚めたらすぐに「働け」と言われた。これが安倍の言う「美しい国」の現実だ。貧しい者はどうなっても構わないというこんな世の中は間違っている。東京都がやっている教育破壊の現実を

シユな攻撃になんら反論せず完全に受け入れてしまっている。さらに、「座り込みが教特法違反」という非難にも沈黙し、組合員を権力の弾圧に差し出そうとしている。「デモ騒音をまきちらす教員は免許剥奪」(中川政調会長)という攻撃に自ら道を開く裏切りだ。

「つくる会」に土下座し、闘う組合員を売り渡す 森越委員長は即刻辞任せよ!

全国労働組合交流センター・教育労働者部会

座り込みを攻撃した面々は、日教組解体を叫び、つくる会教科書採択をねらい、男女平等教育や平和教育攻撃の先頭に立ってきた連中ではないか。こういう連中に追従して座り込みを非難し、日教組が中止して以降も座り込み



全国につくり出すのが教基法改悪だ。

を続けている組合員を「あれはうちの人間ではない」と切り捨てているのだ。

森越発言は、その場しのぎの、口からでまかせといったものではない。政府・与党が今週にも採決をまくろんでいるというのに、本部は、参院段階での座り込みの指示を未だ出していな

これを阻止して「美しくない国」をつくらう。

●神戸・元教員Kさん
安倍政権は格差教育や市場原理の導入で教育基本法をズタズタにしてきたから、その責任を居直って教基法を変えようとしている。安倍政権はここに出てきてすべての人に謝れ! 社会不安を愛国心で固めて「敵国」を攻撃させることは許せない。あらん限りの力で廃案にしよう。

それを間違っていたものとして否定することは完全に統制違反であり、委員長解任に値する行為である。森越発言に対する抗議、撤回・謝罪要求を分會、支部、単組で組織しよう。分会決議や派遣団としての弾劾決議をもちより森越に突きつけよう。

森越発言を黙認することは、闘いの最大の山場で闘争を放棄することだ。森越発言を徹底弾劾し、本部の制動を突き破って、各単組独自の座り込み方針を立てよう。

中川や八木ら改悪推進勢力は、教育労働者の決起に打撃を受けている。闘う日教組の再生こそ教基法改悪への最大の回答だ。

日教組本部の闘争放棄を突き破って、各県・単組独自の座り込み方針をもぎりと、国会前を連日埋め尽くそう! (12・4付部会、ピラより転載)